

5

0



株主の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り衷心より御礼申し上げます。

当上半期のわが国経済は、米国に端を發したサブプライムローン問題の影響により世界経済が混迷する中、個人消費の伸び悩みに加え、原油価格の高騰や円高の進行により企業業績にかげりが見られるなど、景気の減速傾向が強まりました。

乳業界におきましては、国内外の乳原料価格の高騰などを受け、乳業各社が牛乳・乳製品価格の改定を実施いたしました。人口減少、少子・高齢化により需要が伸び悩む中、価格改定による買い控えの影響もあり、企業間競争は一層激化いたしました。

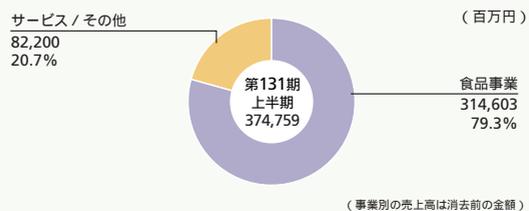
このような状況下、明治乳業グループでは、引き続き消費者の皆様のご支持が得られるよう、「**MEJI**」ブランドの価値向上、ヨーグルト・プロバイオティクス事業などの既存優位事業の徹底強化、チーズ事業や流動食事業など

業績の比較（連結）

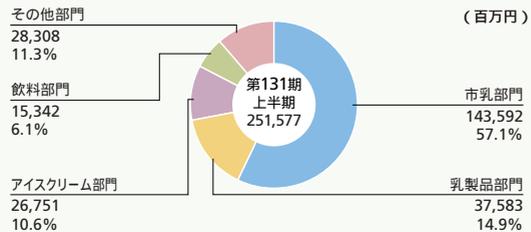
売上高（百万円）	374,759	365,258	706,988
経常利益（百万円）	10,098	12,696	16,065
中間（当期）純利益（百万円）	5,214	7,877	9,226
1株当たり中間（当期）純利益（円）	15.87	23.97	28.08
総資産（百万円）	411,967	404,996	390,192
純資産（百万円）	151,119	149,899	147,425
1株当たり純資産（円）	411.967	449.13	441.73

瘟 = 駿御開口日唾の 侮酵營 粟 領另掄ノ鐵部 \$篇ア欄楮峨尔 ~ 耽停禍 干茜滯

事業別売上高(連結)



部門別売上高(単体)



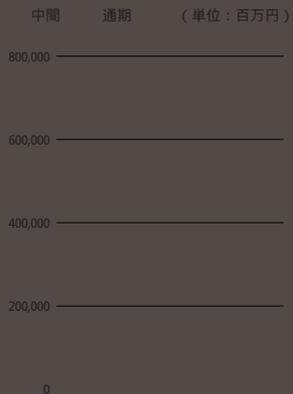


レポ ー ト

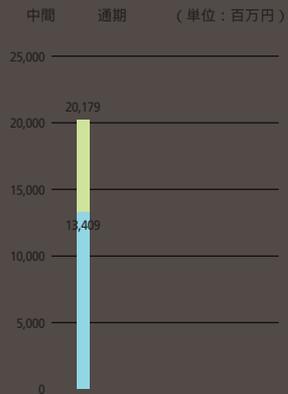
明治乳業株式会社と明治製菓株式会社との共同持株会社設立

明治乳業の普通株式1株に対して明治ホールディングスの普通株式0.117株を、明治製菓の普通株式1株に対して明治ホールディングスの普通株式0.1株をそれぞれ割当て交付いたします。

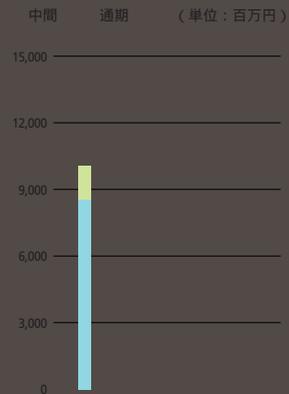
売上高



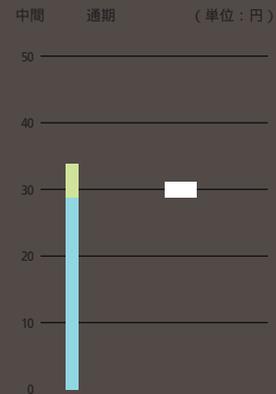
経常利益



中間(当期)純利益



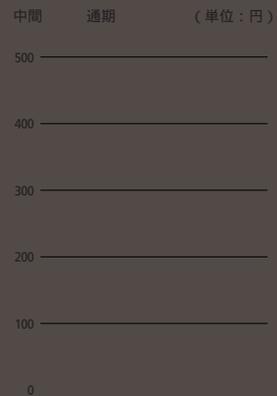
1株当たり中間(当期)純利益



総資産



純資産



第128期は、株主資本を表示しております。

(注)第128期は、1株当たり株主資本を表示しております。

連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成20年9月30日現在	前中間期 平成19年9月30日現在	前 期 平成20年3月31日現在
（資産の部）			
流動資産	160,399	163,484	141,563
固定資産	251,567	241,512	248,629
資産合計	411,967	404,996	390,192
（負債の部）			
流動負債	198,168	195,844	165,730
固定負債	62,679	59,252	77,036
負債合計	260,847	255,096	242,766
（純資産の部）			
株主資本	144,843	141,006	141,022
資本金	33,646	33,646	33,646
資本剰余金	31,994	31,995	31,995
利益剰余金	79,872	75,985	76,019
自己株式	670	619	638
評価・換算差額等	3,934	6,554	4,094
その他有価証券評価差額金	3,934	6,554	4,094
少数株主持分	2,341	2,338	2,308
純資産合計	151,119	149,899	147,425
負債純資産合計	411,967	404,996	390,192

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前 期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	374,759	365,258	706,988
売上原価	273,560	262,954	516,325
売上総利益	101,198	102,304	190,663
販売費及び一般管理費	91,118	89,682	174,400
営業利益	10,080	12,621	16,262
営業外収益	945	1,107	2,085
営業外費用	927	1,032	2,282
経常利益	10,098	12,696	16,065
特別利益	448	2,218	2,366
特別損失	1,369	1,136	2,614
税金等調整前中間（当期）純利益	9,177	13,778	15,817
法人税、住民税及び事業税	3,918	5,838	4,247
法人税等調整額			2,300
少数株主利益	43	62	42
中間（当期）純利益	5,214	7,877	9,226

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前 期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,671	12,441	18,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,503	14,258	44,630
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,978	7,253	15,455
現金及び現金同等物の増加（減少）額	1,147	9,070	10,632
現金及び現金同等物の期首残高	3,230	13,863	13,863
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	20		
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	4,398	4,793	3,230

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

レポート

栄養食新工場「群馬栄養食工場」

当社は、流動食の新しい生産拠点として、平成19年4月より当社群馬工場の敷地内に新工場の建設を進めておりましたが、平成20年7月より生産を開始しました。同工場は最新鋭の設備と技術を駆使した栄養食新工場です。

流動食事業は、高齢化社会の拡大や、医療現場における消化管を介した経腸栄養管理の重要性の理解浸透、医療費削減施策等により、一層の成長性が見込まれています。そこで工場を新設し、来るべき生産量の増加、質の高い商品の生産への対応を実現し、競争優位確立による大幅な事業拡大の実現を目指します。

工場の主な特徴は次の通りです。

①栄養食の製造にふさわしい徹底した品質管理

- ・医療に関わることも多く、より高度な品質が求められる栄養食。高品質を実現するために、HACCPを基本としながら、より進化した製造実行システム（MES）の最新バージョンを採用することで、徹底した工程管理を実施しています。また、牛乳、ヨーグルトやコナミルクの生産で培ってきた当社の生産技術やノウハウを活用しより生産をのびやかに

新工場の概要

- 名称
明治乳業群馬栄養食工場
- 所在地
群馬県伊勢崎市長沼町1741-1
- 敷地面積
約26,800㎡（約8,100坪）
- 延べ床面積
約14,000㎡（約4,240坪）
- 主な生産品目
「総合栄養流動食 メイバランス」
「糖質調整流動食 インスロー」
「たんぱく質・糖質調整流動食 リーナレン」
「乳酸菌発酵成分配合流動食 ファイブレン YH」
- 年間生産能力
4万kl（現行生産能力の約3倍）

流動食の基礎知識

- ・流動食って？
加齢、病気や事故などで通常の食事を十分にとることが困難な場合に使用される栄養食品です。必要な栄養素がバランスよく配合されていて、投与量を調整することで1日に必要な栄養素をこれだけで摂取できます。
- ・流動食はどんなときに使うの？
食べ物を噛んだり、飲み込んだりするものが困難な場合や、手術の前後や食が細い方の栄養補助食品として摂取します。
- ・流動食はどこで使うの？
病院や特別養護老人ホーム、他にもご家庭でも使います。

会社概要

(平成20年9月30日現在)

重要な子会社等

(平成20年9月30日現在)

ホームページのご案内



この報告書は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と大豆油インキを使用しています。

